

公募に係る採点基準及び採点表

委員名 _____

応募者 _____

審査項目	審査基準	配点	得点
1. 取組主体			
	地方公共団体が取組主体となっているか。 複数の地方公共団体の場合、連携が図られる見込みであるか。	—	
2. 取組範囲（面積）※「トキの野生復帰を目指す里地（A地域）」のみ記載			
	取組範囲の面積が要件を満たしており、また、その範囲の自然環境が良好か。	10	
3. 体制整備及び役割分担等			
	（1）環境整備等を行う体制（関係機関との連携含む）が適切である、又は適切に整備できる見込みであるか。取組を進めるに当たっての役割分担が適切か。	10	
	（2）住民を含めた地域ぐるみで取組を推進するための方針が適切か。	10	
4. 生息実績等 ※「トキの野生復帰を目指す里地（A地域）」のみ記載			
	過去にトキの生息実績を有しているか。 繁殖（営巣）実績が明確に確認できる。（加点）	10 (5)	
5. トキに関する知見・経験等 ※「トキの野生復帰を目指す里地（A地域）」のみ記載			
	（1）トキに関する知見等を有しているか。（加点）	(5)	
	（2）トキの飼育・繁殖、飛来個体対応等に関する経験を有しているか。（加点）	(10)	
6. 取組方針			
	（1）トキとの共生を目指すに当たって、地域の現状と課題が適切に把握されているか。	20	
	（2）トキと共生する里地づくりの取組を通じて目指す地域の姿が適切か。	20	
合 計 （最大値）		100	

【採点基準】

審査項目	A 良い		B やや良い		C 普通		D やや悪い		E 悪い		備考
1. 取組主体											
地方公共団体が取組主体となっているか。 複数の地方公共団体の場合、連携が図られる見込みであるか。	—	取組主体が要件を満たしている。	—	—	—	—	—	—	—	取組主体が要件を満たしていない。	E と評価した選定委員が存在する場合は選定しない。
2. 取組範囲（面積）※											
取組範囲の面積が要件を満たしており、また、その範囲の自然環境が良好か。	10	面積要件を満たしており、取組範囲の自然環境も良好である。	7	面積要件を満たしており、取組範囲の自然環境も概ね良好である。	5	面積要件を満たしており、取組範囲の自然環境も一定程度評価できる。	3	面積要件は満たしているものの、取組範囲の自然環境が適切でない。	0	面積要件を満たさない。	選定委員の過半数がD又はE と評価した場合は選定しない。 ※トキの野生復帰を目指す里地（A地域）のみ記載
3. 体制整備及び役割分担等											
（1）環境整備等を行う体制（関係機関との連携含む）が適切である、又は適切に整備できる見込みであるか。 取組を進めるに当たっての役割分担が適切か。	10	関係機関との連携を含む体制が十分であり、役割分担も適切である。	7	関係機関との連携を含む体制が概ね整理されており、役割分担についても概ね適切である。	5	関係機関との連携を含む体制及び役割分担が一定程度評価できる。	3	関係機関との連携を含む体制及び役割分担が一部不十分である。	0	関係機関との連携を含む体制及び役割分担が適切でない。	選定委員の過半数がD又はE と評価した場合は選定しない。
（2）住民を含めた地域ぐるみで取組を推進するための方針が適切か。	10	地域ぐるみで取組を推進する方針が具体的で適切である。	7	地域ぐるみで取組を推進する方針が概ね適切である。	5	地域ぐるみで取組を推進する方針が一定程度評価できる。	3	地域ぐるみで取組を推進する方針が一部不十分である。	0	地域ぐるみで取組を推進する方針が適切でない。	選定委員の過半数がD又はE と評価した場合は選定しない。
4. 生息実績等※											
過去にトキの生息実績を有しているか。 ※繁殖（営巣）実績が明確に確認できる場合は加点。	10 (5)	生息実績が確認できる。 ※繁殖（営巣）実績が明確に確認できる。	—	—	5	生息実績があると推察される。	—	—	0	生息実績が確認できない。	E と評価した選定委員が存在する場合は選定しない。 ※トキの野生復帰を目指す里地（A地域）のみ記載
5. トキに関する知見・経験等※											
（1）トキに関する知見等を有しているか。（加点）	(5)	トキに関する知見等を十分に有している。	—	—	(3)	トキに関する知見等を一定程度有している。	—	—	—	—	※トキの野生復帰を目指す里地（A地域）のみ記載
（2）トキの飼育・繁殖、飛来個体対応等に関する経験を有しているか。（加点）	(10)	トキの飼育・繁殖経験を有している。	—	—	(5)	飛来個体対応等の経験を有している。	—	—	—	—	※トキの野生復帰を目指す里地（A地域）のみ記載
6. 取組方針											
（1）トキとの共生を目指すに当たって、地域の現状と課題が適切に把握されているか。	20	地域の現状と課題が十分に把握されている。	14	地域の現状と課題が概ね把握されている。	10	地域の現状と課題が一定程度適切に把握されている。	6	地域の現状と課題の把握が一部不十分である。	0	地域の現状と課題の把握が適切でない。	選定委員の過半数がD又はE と評価した場合は選定しない。
（2）トキと共生する里地づくりの取組を通じて目指す地域の姿が適切か。	20	目指す地域の姿が具体的で適切である。	14	目指す地域の姿が概ね適切である。	10	目指す地域の姿が一定程度評価できる。	6	目指す地域の姿が一部不十分である。	0	目指す地域の姿が適切でない。	選定委員の過半数がD又はE と評価した場合は選定しない。